

## こども向けセミナー&展示制作発表「大学院生が伝える 海のおもしろさ」の開催について

11 月学長記者懇談会資料  
琉球大学博物館（風樹館） 平良

**企画概要：**サンゴやシャコ、水中考古学など海に関する研究を行っている本学の大学院生が、風樹館の来館者、特にこどもに向けて、自分の研究や海のおもしろさ・大切さをわかりやすく紹介するにはどうしたらよいか、学び、考え、実践する取り組みです。

8 月から活動をはじめ、博物館展示制作（常設展のリニューアル）やセミナーの準備を行ってきました。現在、風樹館 1 階の自然系展示室で制作した展示を公開中です。また、月に 1~2 回のペースでこども向けのセミナーも開催予定です。セミナーの開催のある土曜日は特別に 14 時まで風樹館を開館します。

本取り組みは、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」からの支援を受けて実施しています。風樹館が土曜日に開館となるので普段来られない方も来館のチャンスです。地域のこどもたちなどたくさんの方のご参加をお待ちしております。

### 展示制作発表：11 月 16 日～3 月 7 日

**セ ミ ナ ー：**11/16 「動物？植物？超おもしろいサンゴの生き方」 古川さん

『新種』だらけの沖縄の海」 中島さん

12/14 「海のおそうじ屋さん!? ナマコの不思議」 山口さん

1/25 「フジツボってどんな生物？～時間がわかるふしぎな仲間～」 片山さん

2/8 「海の生き物が見ている世界ってどんな感じ？」 篠崎さん

2/15 「ビーチコーミングって何？海の宝物を探そう！」 仲田さん

※11/16 の回は 2 月末ごろに再演予定です。

**開催場所：**琉球大学博物館（風樹館）

### 【補足：海の学びミュージアムサポートについて】

海の学びミュージアムサポートは、船の科学館が実施しており、全国の博物館、美術館、水族館が行っている海の大切さやおもしろさを学ぶ取り組みを支援している事業です。

風樹館は令和 6 年度に「海のおもしろさを伝えたい！大学院生による研究成果発信の実践的取り組み」で採択されています。

事業 HP：<https://uminomanabi.com/about/>

風樹館の事業：<https://uminomanabi.com/casestudy/10020/>

琉球大学博物館（風樹館）

# 大学院生が伝える 海のおもしろさ

こども向けセミナー & 展示制作発表



## セミナー

対象：小学生～ 参加費：無料  
開始時刻：10:00 ※ 1題 30分程度  
定員：15組程度  
1回の参加だけでもOK



### 要事前申し込み

<https://forms.office.com/r/fNxxurWfJQ>

11/16土

動物？植物？超おもしろいサンゴの生き方  
古川 真央さん（理工学研究科）  
『新種』だらけの沖縄の海  
中島 広喜さん（理工学研究科）  
※松瀬彩さんと松久楓さん（地域共創研究科 考古学研究室）  
の展示解説もあります

12/14土

海のおそうじ屋さん!?ナマコの不思議  
山口 大登さん（理工学研究科）

1/25土

フジツボってどんな生物？  
～時間がわかるふしぎな仲間～  
片山 蒼さん（理工学研究科）

2/8土

海の生き物が見ている世界ってどんな感じ？  
篠崎 花さん（理工学研究科）

2/15土

ビーチコーミングって何？海の宝物を探そう！  
仲田 桜子さん（理工学研究科）

※ 工作があるので、大人と一緒に参加してください  
※ 限定12組まで ※ 時間は1時間程度

## 展示制作発表

2024年 **11月16日(土)**  
▶ 2025年 **3月7日(金)**

通常開館：平日 10:00～16:00  
特別開館：セミナーのある土曜日 10:00～14:00  
申込み不要

場所：琉球大学博物館（風樹館）  
1階 自然系展示室



## 「チョウ類のモニタリング調査研修会」の開催について

11 月学長記者懇談会資料  
琉球大学博物館（風樹館） 平良

**企画概要：**さまざまな要因によって世界や日本、沖縄の自然環境は変化しています。そうした中、自然がどのように変化しているのかを把握すること（モニタリング）が重要になっています。チョウは、エサとする植物との関係などがあり、自然の状態を示しやすい指標生物として有用です。そのため、チョウ類を使った自然のモニタリングが世界的に行われています。

このチョウ類を使ったモニタリング調査の特徴は、専門家だけでなく市民が参加して行っているところです。この市民による活動を沖縄でも広めていくために、初心者や一般の方向けに研修会を開催します。日本チョウ類保全協会の中村事務局長による座学に加え、本学千原キャンパス内で屋外実習も行います。

モニタリング調査には、「ルートセンサス法」を用います。調査を行うルートを決めて、そのルートを歩いて周り、その中で見つけたチョウを記録します。これを定期的に行っていただきます。記録は専用サイトに入力し、長期的なデータ、全国的なデータとして解析されます。新たに調査を始めるというよりは、普段のウォーキングや散歩をしながらチョウの記録を残していただけますので、気軽に始めることができます。

沖縄でのモニタリング調査に向けて、初心者でもチョウの種類が見分けられるようするために、風樹館と日本チョウ類保全協会が沖縄県・奄美諸島版の識別ガイドブックを作成しました。沖縄・奄美地域で見られるチョウを約 100 種掲載しています。参加者には無料配布する予定です。

日本の中でもユニークな生態系をもつ沖縄だからこそ、日本の一番南で外来種の多い沖縄だからこそ、チョウをきっかけに自然環境に目を向け、データをベースとした科学的な考え方で変化をとらえられることが大切です。より多くの方にご参加いただけると幸いです。

**開催日時：12 月 1 日(日) 10:00~12:00**

**開催場所：琉球大学博物館（風樹館）**

### 【補足：チョウの市民参加型モニタリング】

1970 年代にヨーロッパで始まり（European Butterfly Monitoring Scheme- eBMS）、日本もこのプロジェクトに参加しています。世界で何千人もの市民が参加していますが、残念ながら沖縄からの参加はこれまでありません。

eBMS：<https://butterfly-monitoring.net/ja>

初心者  
一般向け

# チョウ類の モニタリング調査研修会

チョウから自然環境の変化を調べてみよう

12月1日(日) 10:00～12:00

琉球大学博物館(風樹館)

主催:琉球大学博物館(風樹館) 共催:日本チョウ類保全協会

オオゴマダラ

講師 中村 康弘  
(日本チョウ類保全協会 事務局長)  
対象 中学生以上  
参加費 無料(事前申し込み)

日時 2024年12月1日(日) 10:00～12:00 (屋内:1時間・屋外:1時間)

場所 琉球大学博物館(風樹館)

対象 中学生以上

定員 35名(参加費無料)

持ち物 筆記用具  
クリップボード・カメラ・チョウの図鑑(お持ちの場合)

服装 野外を歩ける服装

いつもの散歩をグレードアップさせたい方も  
自然の観察が好きな方も  
気軽にご参加ください!

コノハチョウ

申し込み

QRコードまたは  
<https://forms.office.com/r/gDW9V3U1QG>



問合せ

琉球大学博物館(風樹館)

TEL : 098-895-8841

E-mail : [fujukan@fujukan.skr.u-ryukyu.ac.jp](mailto:fujukan@fujukan.skr.u-ryukyu.ac.jp)

〒903-0213 沖縄県西原町千原1番地